

と其に外國人の美風をも加味せるうるはしき我國民の御養成にとめられんことを希望いたします

英國の家庭では客などの前で男の子を扱ふに何時もセントルマンの語を用ゐて居るをなだ。一寸縁など閉めたい時は「あの縁をセントルマンに閉めて貰ひませうかね」とか「角砂のお皿はセントルマンが持つて回はるのだから」など云ふので水兵服の小さき紳士は意氣揚々と給事して喜んで居るをなだ。會に喧嘩などするものがあると「セントルマンが何だね女の子などないぢめて」と云ふので直に止めてしまふ。

萬事小さい時から斯う云ふ風なので三つ四つの頃に其始めて水兵服を着せられた時などには非常に悦んでセントルマンと叫んで歩くをなだ。

音樂管見

女子音樂學校長 山田源一郎

幼稚園の音樂

元來幼稚園は音樂を以てその大半を占むるものなり、音樂を離れては幼稚園なるものは殆んど無意味となるべし、音樂は何人も好むものなれど、わけて兒童の最も好む所にして、幼稚園には甚だ必要あるものならん。されど、幼稚園は文字の示す如く最も幼稚なる兒童のみを收容する所にしてその目的たる相手方已に幼童なれば、これに課する音樂も又從つてやさしきものたらざる可らず。但し、そのやさしきものたるや、唯歌曲の容易なりと云へる意味のみに限らず。卑近にして興味あるもの、而も野卑に流れざるものたらざる可らず然れども、現今の幼稚園又は小學校に用ゆる音樂を見るに、必ずしも斯の如きものみにわらず、中には高尚に失し興味少なきもの多きを見る。これ等は畢竟幼稚者に教ゆる音樂の研究足らざるが故なり。我國現今の音樂は多く西洋の粹を探らん

とせる時期にして、卑近なる音楽は殆んど顧みざるの時なり。故に高尚なる音楽は時々輸入せらるれど、兒童に適する簡易なる音楽は缺乏せり。これ甚だ嘆すべき現象にして兒童に不幸なるのみならず、又音楽普及の點に於ても遺憾に堪へざる所なり。音楽は俄に普及せんとするも效少なく、必ずや幼稚なる時より徐々に思想を養はざる可らずその普及を斗るは幼稚園小學校の時代より音楽を課するに如かず。この時に於て幼童に授くる適當なる音楽なきは、豈憂ふべきことならずや。世の音楽家たるもの宜しくこれが發展を講すべし。これと同時に望むべきは、保姆の音楽思想を進めたることなり。保姆の待遇卑きがため、現今保姆に充分なる素養を有するもの甚だ稀なるはいと悲しむべきことなり。苟も音楽に興味を持たせ愉快に教授せんと欲せば、教授者自身に於て音楽の興味を有せざるべからず、音楽の思想乏しくして他人に思想を與へんなどは、木によつて魚を求むるの類、到底得て望むべきにあらざり、前に述べし如く、已に適當なる歌曲なき今日に於て良

教授者を缺くとせば、完全なる教育を施すことはざるや明なり。吾人は初等なる音楽の研究を必要とすると共に、又これを授くる者に於て相當なる修養を爲さんことを希望して止まざるなり。

國民的音楽

風俗習慣は言ふを待たず、文學音楽の如きに於ても國相應のものありて存す。殊に音楽の如きは國民性の表れしものと見るも差支なければ、その國によりて異なるは敢て不思議にあらず、否その異なる所に特長ありて妙味は存するなり。然るに今の音楽家稍もすれば一も西洋二も西洋、西洋の音楽にあらざれば音楽にあらざるが如く、日本固有の音楽を排斥して、西洋樂のみを採らんとするは、慎重の態度を守れる者と云ふを得ず、如何にも西洋は日本より進歩發達せるを以て、研究上これを學修するは正當の事なるも、それが爲め西洋のみに偏重して、在來の日本音楽を放任するはよからず、彼れの長を採ると共に必ず我れの短を補ふてふ心掛なかるべからず。

音楽を國民に普及するにはよろしく音楽堂の如

きものを設けて時々演奏すべし。東京市は日比谷公園に音楽堂設置されしも、未だ市民の數に比すれば不足なりと云ふべし。東京市の如き所に於ては、少なくとも三ヶ所位は設くるの必要あり。音楽堂演奏の音楽を充分解する人は稀なるに相異なけれど、音楽を耳にして何等かの感情を起すは事實にして、如何なる人にも、これを聞ける間は他事を忘れて無念の境に入るならん、斯の如きこと屢々度數を重ねれば、知らず識らずの間に音楽思想は注入せらるゝに至るべし。而して茲にこの音楽會に希望するは、歌曲の大意、作歌者の人物及びその當時の時勢等を、一般の人に知らしむる方法を採り度きものなり。演奏の如何なるものなるやをも知らずして聞くは無意味に終りて效少なきも、大意を解せば門外漢にても幾分の興を増すに至らん、幾分にも興味を覺ゆるに至れば、それだけ音楽思想は普及されし譯なり。故に東京のみに限らず、京都、大阪、長崎、函館等至る所に時々この會を設け、以て國民に聞かす様爲したきものなり。それにしても、音楽家を多く養成せざ

ればこれを充たすこと能はざるを以て、音楽家を養成する工夫をも爲すべし。日比谷音楽會が、陸海軍の音楽隊のみに限らるゝが如き有様にては駄目なり、宜しく市中の各音楽隊を充分完全に進め斯の如き晴の會堂に出さる可らず。今の廣告屋の音楽隊は、唯音をさすのみにて、樂理に合はざる故人中に出すこと能はざるなり。當今音楽は大に盛況を呈し來れるを以て、追々進歩發展を見るに至るべし。喜ぶべき現象と云ふべし。(龍東記す)

八

靴の耗方と人の性質 瑞西の一下クトルは多年研究の結果靴の損じ方にて人の性質を判斷する方法を發明せる由なるが其説に依れば靴の瓜先と踵の部分が規則正しく又た等分に耗るものは其男子たる場合に於ては極めて善良なる事務家にして正直の人なるべく其婦人たる場合に於ては良妻賢母の人なるべく靴の外側を穿き耗らす人は頗る冒險進取の勇氣に富み執拗の性を帯び又内側を穿き耗らす人は男子の場合に於ては優柔不斷の人なるべく婦人の場合に於ては内氣の性質と判するを得べしといふ